

一者応札・応募事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人中小企業基盤整備機構
案件番号	本-336
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)
契約の件名及び数量	「平成25年度中小企業大学校の市場化テストに係るアドバイザー業務」、一式
契約締結日	平成25年6月10日
契約の相手方の商号又は名称等	プライスウォーターハウスコーパス株式会社
入札経緯及び結果	平成25年3月 8日 入札公告 平成25年3月18日 入札説明会 平成25年4月 9日 企画書等提出期限 平成25年4月16日 開札(入札不調) 平成25年4月19日 入札公告(再公告) 平成25年4月30日 入札説明会 平成25年5月20日 企画書等提出期限 平成25年5月27日 開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	前回よりも業務量の増大、契約期間の延長等を図り、応札しやすい仕様内容となるよう改めた。また、契約方法も、企画評価による方法から一般競争入札による方法へと見直した。なお、仕様内容の理解を促すため、説明会では仕様書の他に業務で実際に使用する作業用フォーマット等を説明会参加者に配布して説明している。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札後から契約締結までの期間を延長した(前回:11日間→今回:15日間)。
③公告期間の見直し	×	入札公告から入札説明会までの期間について、前回同様10営業日程度とした。
④公告周知方法の改善	×	前回同様、事務室掲示板及び機構ホームページにより公告した。
⑤電子入札システムの導入	×	組織として導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札参加辞退者(再公告分も合わせて6社のうち5社)から提出された辞退届では、主に以下の理由が挙げられている; ①企業等に求められる業務実績の要件が厳しかった ②現時点において必要な技術者等が不足しており、契約履行開始までに必要な体制を整えること等が困難と判断した
⑦その他		

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

実績に関する要件については、市場化テストの特殊性を鑑みつつ、調達目的を確実に達成するための必要最小限のものとなるよう、認められる要件の範囲を拡大する。
また、現在検討中の新たな業務の追加及び契約期間の複数年化による事業規模の拡大も含め、業務内容の見直しを検討するとともに、業務量が見込みやすくなるよう、入札仕様書等の改善を図る。
なお、本業務に求められる知見を有する人員を整えられる事業者は限られていることから、事前に実施可能な事業者等を調査し、公正性・公平性を確保しつつ、積極的に競争参加者の発掘に努める。

契約監視委員会のコメント

・本件は初回の説明会参加者が本業務に相応しい事業者だと思われる。初回の説明会参加者が2回目の入札に参加をしなかった理由を確認して頂きたい。

(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)

・本件対応について、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を行うとともに、初回の説明会参加者が2回目の入札に参加をしなかった理由を確認して、次回の入札時の参考とする。

本案件を審議した契約監視委員会の委員

井上東委員長、吉野源太郎委員、渡邊惺委員、中本皓三委員、大槻一公男委員

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。